

## 第31回群馬県河川整備計画審査会

- **開催日時**：令和3年2月2日（火） 10：30～12：00
- **開催場所**：群馬県庁 29階 291会議室
- **出席委員**：赤羽潤子、姉崎智子（ウェブ参加）、片野光一、佐藤敦彦、清水義彦、高山佳一（ウェブ参加）、茶珍護、平川隆一、堀尾明宏（ウェブ参加）、宮田裕紀枝、渡辺龍介（出席11名） 敬称略
- **欠席委員**：石井敦、鶴崎賢一（欠席2名） 敬称略
- **事務局**：河川課 …西澤課長、米山次長、筑井補佐、野口係長、小野主幹、五十嵐主幹、高見澤主任  
渋川土木 …一倉補佐、吉田主幹  
中之条土木…篠原補佐
- **議題**：吾妻川圏域河川整備計画（原案）について
- **配付資料**：
  - ・次第
  - ・資料1：吾妻川圏域河川整備計画（原案）
  - ・資料2：吾妻川圏域河川整備計画（素案・原案）対照表
  - ・資料3：吾妻川圏域河川整備計画（素案）に対する審査会からの意見への対応方針
  - ・資料4：吾妻川圏域河川整備計画（原案）に対する県民から提出された意見への対応方針
  - ・資料5：吾妻川圏域河川整備計画 策定スケジュール
  - ・出席者名簿
  - ・席次表

### ■ 議事録：

#### 1 開会

#### 2 あいさつ（河川課長）

#### 3 議題

##### 吾妻川圏域河川整備計画（素案）について

事務局より、資料1、資料2、資料3、資料4、資料5の内容について説明。

以下、審議内容（※P.○は資料1のページ番号）

#### ・「第1章 圏域の概要」について

##### ➤ 宮田委員

P.6 (4) 圏域の歴史の文章について、遺物と遺跡が混在しているので整理してほしい。  
また、国指定史跡である岩櫃城について追記してほしい。

##### ⇒ 事務局

内容を確認し、修正・追記することとしたい。

## ・「第2章 河川の現況と課題」について

### ➤ 佐藤委員

**P.14** 2)魚類等について、出典欄の河川水辺の国勢調査の調査年度に令和2年度も記載されているが、魚類調査を実施したのは令和元年度であり、魚類の出典とは異なるのではないか。

#### ⇒ 事務局

魚類調査は令和元年度に実施、他の生物調査を令和2年度に実施している。出典欄は、魚類以外の生物項目(鳥類、両生類、爬虫類、哺乳類、昆虫類)の出典にもなっていることから、このまま記載することとしたい。

### ➤ 茶珍委員

**P.16** 5)昆虫類について、水生昆虫と陸生昆虫を区別して記述したほうが、よりわかりやすいと感じる。

#### ⇒ 事務局

今後の河川整備計画の見直しの際の参考としたい。

### ➤ 堀尾委員

**P.17** (2)水質について、品木ダムによる水質改善効果を記述しているが、生物環境調査等  
は行われているのか。

#### ⇒ 事務局

国によるフォローアップ調査として水質調査及び生物調査等を実施しており、本文はその報告書を参照している。出典を追記することとしたい。

## ・「第3章 河川整備計画の目標に関する事項」について

### ➤ 清水委員

**P.22** 第2節について、今回の整備計画で対象としている河川は、現況の治水安全度が低く、高頻度で発生する洪水でも家屋等が浸水するおそれがあり、早急に対策をとる必要がある箇所を優先して進めるということだが、もう少し理解しやすいように記載したらどうか。

#### ⇒ 事務局

文章については、再度検討して修正することとしたい。

### ➤ 宮田委員

**P.22** 第2節について、目標とする治水安全度とはどういったものを示しているのか。

#### ⇒ 事務局

目標とする治水安全度は、上下流バランスや本支川バランスを考慮して決定しており、吾妻川は利根川に流入していることから、利根川上流圏域や国の治水目標との整合を図ることとしている。なお、洪水時に流れると想定される流量を安全に流せることを確認している。

支川についても、吾妻川本川の整備目標との整合を図り治水安全度を決定している。

➤ 高山委員（審査会後の追加意見）

P. 24 第4節について、工事に起因する濁水の影響について追記されたが、工事が行われていない時も水質等の状況把握に努めるよう記述してほしい。

⇒ 事務局

案としてとりまとめる際に、追記することとしたい。

・「第4章 河川整備計画の目標に関する事項」について

➤ 平川委員

P. 27、29 各河川の整備内容を記載している箇所について、本文と流量配分図に記載されている流量の単位表示が「 $m^3/s$ 」と「 $m^3/s$ 」が混在しているので統一してほしい。

⇒ 事務局

案としてとりまとめる際に、単位表示を修正・統一することとしたい。

➤ 堀尾委員

P. 29 治郎兵衛川の放水路整備について、吾妻川本川の水位の影響や、平水時の流量はどのようなになるのか。

⇒ 事務局

本川の水位が上昇しても支川の治郎兵衛川に影響はないことを確認している。また、平水時は全量を現河川に流下させ、流量超過時のみ放水路側に分水する計画としている。

・「第5章 河川情報の提供、地域や関係機関との連携等に関する事項」について

➤ 平川委員

P. 34 第1節について、既往災害の記録を伝承すると記載されているが、その手段は何か考えているか。また、地域に伝わる歴史的な治水の技術や水防の知恵について事例等を記載してはどうか。

⇒ 事務局

事例等について、具体的に記載することとしたい。

➤ 清水委員

過去の災害資料を収集することが重要である。収集に努めるといった表現を追記してはどうか。

➤ 赤羽委員

県民センターにカスリーン台風のビデオがある。また、過去の災害は地域に昔から住んでいる高齢者から貴重な情報が聞けることがある。

⇒ 事務局

案としてとりまとめる際に、追記することとしたい。

➤ 赤羽委員

**P. 35** 第2節の地域や関係機関との連携について、河川課で実施しているマイタイムライン作成の取り組みの進捗はどうか。

渋川市で講習会を開催した際は、時間が短く、住民が十分理解できないまま、説明時間が終了してしまったのが残念であった。市町村や自主防災組織の方が理解を深められるよう、説明方法を工夫していくことが重要である。

⇒ 事務局

マイタイムライン作成の取り組みは今年度から始めたもので、市町村とも協力しながら今後も継続して進めていきたいと考えている。

渋川市での講習会は最初の開催であり、反省点を踏まえて、市町村や地域の方たち地域住民を指導できるように、より身につく説明方法に変えていきたい。また、危機管理課と連携して、地域防災について啓発を進めたい。

➤ 赤羽委員

**P. 36** タイムライン等の他に、地域防災計画の取り組みを進めており、地域ごとの防災計画を自主防災組織できちんと立てていただくことが重要である。河川のハード面の整備だけでなく、住民と協働で命を守っていかなければならないため、本文では総論ではなく具体的な方策などを盛り込んでいただきたい。

⇒ 事務局

本文への記載については、改めて検討させていただきたい。

4 事務連絡

- 議事録の確定について
- 次回開催時期について

5 閉会

(以 上)

署名 清水 義彦